

## 編集後記

敬心学園研究ジャーナル第2巻第2号（通巻第4号）をお届けします。今回も病身の中無理をして総説をお書き頂いた高塚先生をはじめ多くの皆様にご協力をいただき、しっかりした内容でお届けできることをとても有難く思っています。特に、段々に査読体制も整って、査読の質も向上していますので、（原著論文としては）取り下げられた論文も少なくないという状態になりました。

少し残念なのは、この敬心学園研究ジャーナルはJステージで公開される研究誌となりましたので、発表のチャンスを求めている職業教育研究開発センターの（客員）研究員からの投稿は増えているのですが、学内からの投稿はあまり多くないことです。研究するのは大変楽しいので、その成果を外部に発表しなくてもよいという方もいるでしょう。しかし、通常「研究」は外部に発表されることで、社会的に貢献することも、大切な目的の一つと考えられています。その発表の方法も最も中心的な方法は、論文として、研究誌に投稿することです。学内の皆様におかれても、様々な研究が行われているようですので、是非、論文化されて投稿されるよう、また、査読落ちになった論文執筆者の皆様におかれましても、是非、修正の上再チャレンジをされますよう期待しております。

（編集長 川延 宗之）

研究倫理専門委員、敬心・研究ジャーナル編集委員、そして査読委員の先生各位のご教示、そして原稿執筆いただいた投稿者の皆さまのおかげをもちまして、『敬心・研究ジャーナル 第2巻第2号』を発行することができました。今号より編集事務局担当をさせていただき、至らないことも多々ある中、お力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

はじめての編集事務局として、査読論文を手にし、査読委員のご助言も加わり一層磨きかけられ、そして査読論文が校了する、その瞬間は、直接論文に携わっていないにも関わらず、大きな喜びを感じました。研究事業の事務局、本誌編集事務局の担当、またニュースレター5号（7月15日発行）「研究のPDCAを廻す」（川延センター長記）を通して、研究することの大切さや、研究ができることが幸せなことである、と考えていましたが、本誌発行に携わり、その思いが一段と強くなりました。

この先、より多くの皆さまからの論文執筆・投稿を心よりお待ちしております。

（編集事務局担当 杉山 真理）

### — 「敬心・研究ジャーナル」学校法人敬心学園 編集委員会（2018.10.1現在） —

- |     |             |                           |
|-----|-------------|---------------------------|
| 委員長 | 川延 宗之       | （職業教育研究開発センター、大妻女子大学名誉教授） |
| 委員  | 行成裕一郎、松永 繁  | （日本福祉教育専門学校）              |
|     | 黒木 光、阿部 英人  | （日本リハビリテーション専門学校）         |
|     | 町田 志樹、浜田 智哉 | （臨床福祉専門学校）                |
|     | 木下 美聡、天野 陽介 | （日本医学柔整鍼灸専門学校）            |
|     | 安部高太郎、熊崎 有香 | （日本児童教育専門学校）              |
| 事務局 | 杉山 真理       | （職業教育研究開発センター）            |

## 〈執筆者連絡先一覧〉

- ・仏教系保育所・幼稚園における保育・教育理念の特色  
— 東京都内の日本仏教保育協会加盟園のウェブサイト分析から —  
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 安部 高太朗  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-15  
E-mail: kabe@jje.ac.jp
- ・プロテスタント系保育所・幼稚園等における保育・教育理念の特色  
神奈川県を事例として  
学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター 客員研究員  
鈴木 康弘  
E-mail: yasumono@msn.com
- ・パーキンソン病の嚥下障害に対する超音波療法の効果検証  
— 舌骨下筋に対する温熱効果は嚥下効率を改善させる —  
東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科  
理学療法専攻 内田 学  
〒206-0033 東京都多摩市落合4-11  
E-mail: m-uchida@u-ths.ac.jp
- ・子育て支援を目的としたグループワークの検討  
帝京平成大学 健康メディカル学部臨床心理学科  
鈴木 信子  
〒170-8445 東京都豊島区東池袋2-51-4  
E-mail: nobukosuzuki@thu.ac.jp
- ・クライアントの対人関係における悪循環への介入  
さかの医院 福村 香菜  
〒340-0035 埼玉県草加市西町195-2  
E-mail: sakanocl@gray.plala.or.jp
- ・“Reports” as advocacy activities on abuse against persons with intellectual disabilities  
— The number of reported cases published by prefectures in recent years —  
日本社会事業大学 梶原 洋生
- ・介護老人保健施設での包括的褥瘡ケアシステムによる褥瘡発生減少への取り組み  
— OH スケール（芦名版）のリスク度別褥瘡発生率、再発率、発生部位の検討 —  
介護老人保健施設ハートケア湘南芦名リハビリテーション科  
喜多 智里  
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名1丁目16-12  
E-mail: reha1@hc-ashina.jp
- ・即時効果を特色とした介護予防運動プログラムの有効性  
— 腰編プログラム実施者の数値評価スケール（Numerical Rating Scale）に焦点をあてて —  
早稲田大学非常勤講師 包國 友幸
- ・保育者の「専門性」の構造的把握をめぐる諸問題  
大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科  
地域保健学域 教育福祉学類 吉田 直哉  
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1  
E-mail: naoya\_liberty@yahoo.co.jp
- ・デンマークにおける職業教育  
学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター 杵渕 洋美  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-16-6 宇田川ビル6階  
E-mail: kinebuchi@keishin-group.jp